### 福島経済マンスリー

# 県内経済は、公共投資や住宅投資などで低い水準 が続いており、全体的に弱含みで推移している。

**1. 県内経済動向** (2024年3月の統計資料などを基に取りまとめたものです。)

項	B	今 月 の 動 向	景 況 変化方向	判 断 水 準
県内経済の景況		消費動向全体では引き続き前年を上回る。一方、公共投資や住 宅投資が低水準で推移し民間設備投資も前年を下回るなど、県 内経済全体では弱含みで推移している。	<b>N</b>	♠
消費	動 向	消費動向は、百貨店・スーパー、ドラッグストアが前年を上回ったが、コンビニは2年ぶりに前年を下回った。一方、乗用車販売台数は引き続き一部メーカーの出荷停止の影響があり、3カ月連続で前年を下回っている。		*
公共	: 投 資	公共投資は、公共工事前払保証請負金額が2カ月連続で前年を 下回った。東日本高速道路など独立行政法人で増加したが、会 津若松市など市町村で減少したことにより全体で前年同月比減 となった。		R
設備	· 投 資	民間非居住用建築着工は、棟数・床面積・工事費予定額がいず れも前年を下回った。工事費予定額は、前年に大幅増加した 「医療、福祉用」と「宿泊業、飲食サービス業用」で大きく減 少した。		
住宅	:投資	新設住宅着工戸数は4カ月連続で前年を下回った。利用関係 別にみると、「持家」が前年比△16.4%、「貸家」が同△53.7%、 「分譲」が同△6.7%といずれも前年を下回った。		R
生産	: 活動	鉱工業生産指数は、季節調整済指数が87.8で前月比+3.7%となった。業種別にみると、前月比低下が「輸送機械工業」(前月比△12.8%)など5業種に対し、上昇が「化学工業」(同+18.1%)、「窯業・土石製品工業」(同+11.3%)など14業種となり、全体で前月を上回った。	$\Rightarrow$	
雇用	動向	有効求人倍率は季節調整値が1.34倍で前月比+0.04ポイントとなった。「サービス」(介護サービス、接客・給仕など)や「専門・技術」(建築・土木技術者、看護師・医療技術者など)といった職種では引き続き求人数が求職者数を大幅に上回る。雇用保険受給者実人員は前年比+1.0%と6カ月連続で前年を上回っている。	$\Rightarrow$	<i>⇔</i>

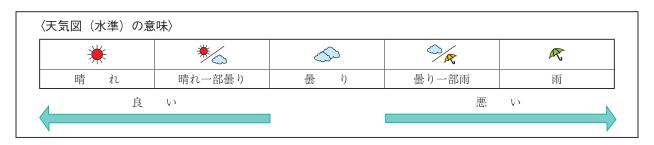
注1:「変化方向」は前月と比較した現在における景況の変化方向( →: 改善、 →: 不変、 \ : 悪化)を示し、当月と前月における3カ月加重移動平均の前年同期比を比較して判断。

注2:「水準」は現在における景況の水準を示し、当月の3カ月加重移動平均値と過去5年間の平均値を比較して判断しており、「変化方向」が改善または悪化の場合に、「水準」が必ず変化するわけではない。なお、公共投資および設備投資は6カ月加重移動平均値による判断。

注3:「景況判断」は、注1および注2の通り、中長期的な指標を基に判断しているため、「今月の動向」と異なる場合がある。

注4:鉱工業生産指数は2月データ。

注5:鉱工業生産指数の季節調整済指数、有効求人倍率の季節調整値は、月による稼働日数の違い、正月や年度末の決算などの社会慣習など、季節変動の影響を取り除くことで前月や前々月との比較を可能にしたもの。





## 2. 県内経済動向の概要

(1) 前年同月比 (単位:%、ポイント)

	項目	前 年 同 月 比						
		2023年10月	11 月	12 月	2024年1月	2 月	3 月	
消費動向	百貨店・スーパー販売額(全店舗)	2.6	2.4	0.2	0.1	4.2	3.5	
	コンビニエンスストア販売額 (全店舗)	0.9	0.3	0.6	0.7	4.4	△ 0.8	
	ドラッグストア販売額(全店舗)	9.2	7.0	4.7	5.4	10.6	6.7	
	乗用車販売台数	12.3	6.2	8.6	△ 3.2	△ 2.0	△ 10.0	
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	△ 34.1	△ 35.4	50.6	2.7	△ 53.6	△ 4.3	
設備投資	建築着工工事費予定額(民間非居住用)	△ 28.8	125.6	199.6	4.3	△ 63.7	△ 33.4	
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 10.2	24.9	△ 24.7	△ 3.8	△ 4.0	△ 28.0	
生産活動	鉱工業生産指数 (総合)	1.3	△ 8.9	0.2	△ 6.6	1.3	_	
雇用動向	有効求人倍率 (パート含む)	△ 0.06	△ 0.04	△ 0.13	△ 0.17	△ 0.13	△ 0.06	
	雇用保険受給者実人員	3.3	3.6	1.2	2.4	4.3	1.0	

注1 鉱工業生産指数は原指数、有効求人倍率は原数値。Pは速報値、rは訂正値。

(2) 前月比 (単位:%、ポイント)

	項目	前 月 比					
		2023年10月	11 月	12 月	2024年1月	2 月	3 月
消費動向	百貨店・スーパー販売額(全店舗)	5.2	△ 3.1	27.3	△ 18.3	△ 7.2	10.8
	コンビニエンスストア販売額(全店舗)	1.4	△ 4.5	8.2	△ 9.3	△ 3.6	7.7
	ドラッグストア販売額(全店舗)	△ 2.8	△ 0.5	4.0	0.5	△ 3.1	△ 1.9
	乗用車販売台数	1.5	△ 3.8	△ 6.7	△ 8.6	14.6	49.4
公共投資	公共工事前払保証取扱保証請負金額	24.7	△ 64.7	137.8	△ 31.0	△ 26.0	330.2
設備投資	建築着工工事費予定額(民間非居住用)	171.8	10.9	△ 10.2	△ 53.3	11.6	19.4
住宅投資	新設住宅着工戸数	△ 10.4	29.0	△ 33.7	△ 14.3	9.6	△ 14.5
生産活動	鉱工業生産指数 (総合)	1.1	△ 9.5	12.2	△ 9.7	3.7	_
雇用動向	有効求人倍率 (パート含む)	0.02	△ 0.01	△ 0.03	△ 0.05	0.00	0.04
	雇用保険受給者実人員	0.2	△ 4.7	△ 7.6	1.7	△ 1.8	△ 3.7

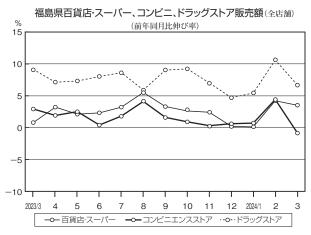
注2 鉱工業生産指数は季節調整済指数、有効求人倍率は季節調整値。Pは速報値、rは訂正値。

#### 3. 県内経済動向

### 消費動向

### 百貨店・スーパー、ドラッグストアが前年 比増、コンビニが前年比減

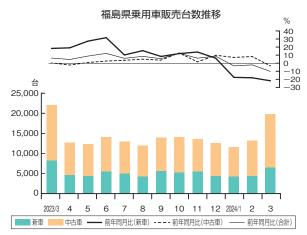
3月の県内百貨店・スーパーの販売額は244 億34百万円(前年同月比+3.5%)、ドラッグストア販売額は102億84百万円(同+6.7%)と前年を上回ったが、コンビニエンスストア(コンビニ)販売額は172億39百万円(同△0.8%)で、2年ぶりに前年を下回った。なお、百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストアの販売額合計は519億57百万円(同+2.6%)と前年を上回った。



(資料:経済産業省)

#### 乗用車販売: 3カ月連続で前年比減

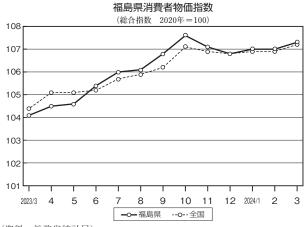
3月の乗用車販売台数をみると、新車が6,465 台(前年同月比△21.4%)、中古車が13,278台 (同△3.2%)、合計が19,743台(同△10.0%)と なり、3カ月連続で前年を下回った。新車は引 き続き一部メーカーの出荷停止の影響があり、 小型車が同△37.6%、軽乗用車が同△19.0%と なっている。



(資料:(一社)日本自動車販売協会連合会福島県支部、(一社)全国軽自動車協会連合会)

## 消費者物価指数:前月比・前年比ともに 上昇

3月の消費者物価指数は、総合指数(福島市、2020年=100)が107.3で前月比+0.3%、前年同月比+3.1%。費目別に前月比でみると、「被服及び履物」の107.2(前月比+2.2%)など7費目で上昇し、「諸雑費」の101.9(同△0.2%)など2費目で低下した。



(資料:総務省統計局)

#### 光 観

※延べ宿泊者数は2月データ

#### 延べ宿泊者数: 2カ月ぶりに前年比増

2月の延べ宿泊者数は、785,410人(前年同 月比+5.3%)と2カ月ぶりに前年を上回った。 このうち、外国人延べ宿泊者数は39,880人(同 +100.2%).

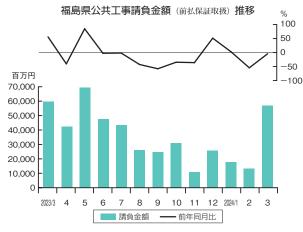


(資料:観光庁「宿泊旅行統計調査」)

### 公共投資

#### 公共工事:請負金額は2カ月連続で前年比減

3月の公共工事前払保証取扱は、件数が482件 (前年同月比+10.3%)、保証金額が278億31百万 円(同+13.0%)と前年を上回る一方、請負金額 が573億52百万円(同△4.3%)と前年を下回った。 発注者別では、東日本高速道路など独立行政法 人で増加したが、会津若松市など市町村で減少 したことにより全体で前年同月比減となった。



(資料:東日本建設業保証(株))

### 設備投資

### 設備投資:工事費予定額は2カ月連続で前年 比減

3月の建築着工(民間・非居住用)は、棟数が 123棟(前年同月比△12.1%)、床面積が48,204㎡ (同△26.5%)、工事費予定額が123億56百万円 (同△33.4%) といずれも前年を下回った。工事 費予定額を用途別にみると、前年に大幅増加し た「医療、福祉用」で約52億円、「宿泊業、飲食 サービス業用」で約49億円減少している。



(資料:国土交通省)

### 住宅投資

### 住宅建設: 4カ月連続で前年比減

3月の県内新設住宅着工戸数は478戸(前年同月比△28.0%)と4カ月連続で前年を下回った。主な利用関係別にみると、「持家」が249戸(同△16.4%)、「貸家」が113戸(同△53.7%)、「分譲」が112戸(同△6.7%)といずれも前年を下回った。



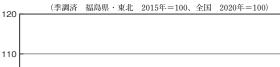
(資料:国土交通省)

### 生產活動

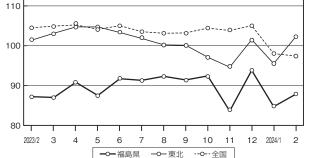
※鉱工業生産指数は2月データ

#### 鉱工業生産指数:前月比・前年比ともに上昇

2月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が 87.8 (前月比+3.7%)、原指数が86.8 (前年同 月比+1.3%) とともに上昇した。業種別の季 節調整済指数前月比をみると、「化学工業」(前 月比+18.1%) など14業種で上昇し、「輸送機 械工業」(同△12.8%) など5業種で低下した。



福島県鉱工業生産指数(全国、東北との比較)

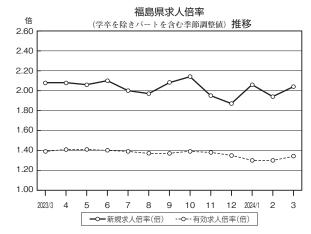


(資料:福島県企画調整部統計課)

### 雇用動向

#### 雇用動向:有効求人倍率は前月比上昇

3月の新規求人倍率は、季節調整値が2.04倍 (前月比+0.10ポイント)、原数値が1.79倍(前年 同月比△0.14ポイント)となり、有効求人倍率 は、季節調整値が1.34倍(前月比+0.04ポイント)、 原数値が1.31倍(前年同月比△0.06ポイント)と なった。また、2月の雇用保険受給者実人員は 5.452人(前年同月比+1.0%)と6カ月連続で前 年を上回った。

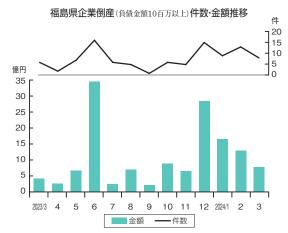


(資料:福島労働局職業安定部)

### 企業倒産

#### 企業倒産:件数・金額ともに前年比増

3月の企業倒産(負債金額10百万円以上)は、 件数が8件(前年同月比+33.3%)、負債総額 が7億75百万円(同+90.4%)。業種別では「建 設業」が3件、「製造業」「小売業」が各2件、 「卸売業」が1件となった。



(資料:㈱帝国データバンク福島支店)

### 金融動向

#### 資金需給:預金・貸出金ともに前年比増

県内金融機関(全国銀行の県内店舗分、県内 8信用金庫の全店舗分)の2月末の実質預金残 高は10兆2.908億円(前年同月比+0.8%)、貸出 金残高は4兆8,904億円(同+0.3%)といずれ も前年比増加した。(3月データは、本稿執筆 時点で未公表のため、2月データを掲載)

※実質預金は、総預金から未決済の他店払い手 形・小切手類の合計金額を控除したもの。

#### 億円 110,000 100,000 90,000 80,000 70,000 60.000 50,000 40.000 30,000

8 9

実質預金 貸出金 ----貸出金前年同月比 ——実質預金前年同月比

10 11 12 2024/1

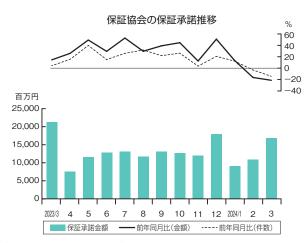
6

福島県民間金融機関実質預金・貸出金

(資料:日本銀行福島支店)

## 保証協会:保証承諾は件数、金額とも前年 比減

3月の保証承諾は、件数が959件(前年同月 比△14.5%)、保証金額が166億99百万円(同 △21.5%)。3月末日現在の保証債務残高は、 件数41,252件(同△6.7%)、金額5,194億62百万 円 (同△8.2%)。一方、3月中の代位弁済は、 件数が45件(同+4.7%)、金額が6億51百万円 (同 + 100.3%)。



(資料:福島県信用保証協会)